

施設野菜のチャノホコリダニに対するリモニカスカブリダニの利用リスク

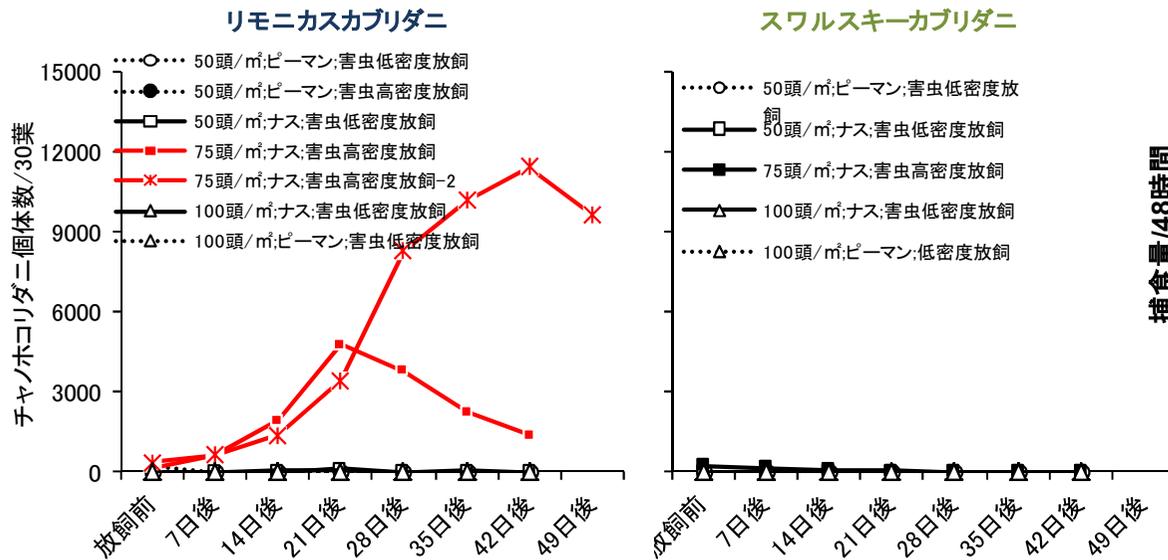
施設野菜でチャノホコリダニに対してリモニカスカブリダニを利用する上でのリスクと原因を解明

背景・目的

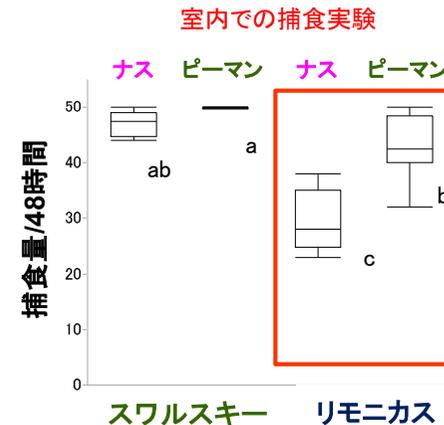
- ・リモニカスカブリダニはスワルスキーカブリダニよりも低温での活動性に優れる有効な天敵であるが、本種の利用拡大に伴い、チャノホコリダニによる被害が散見
- ・しかし、その実態および原因については未解明

成果の内容

リモニカスカブリダニおよびスワルスキーカブリダニの両種間で、チャノホコリダニに対する防除効果の相違、防除効果に影響する要因、その生物的原因を解明



チャノホコリダニ密度が高い条件でリモニカスカブリダニを放飼しても十分な防除効果は得られず、そのリスクはナスで高くなる



異なるアルファベットは処理区間での統計的有意差を示す(二元配置分散分析後、TukeyのHSD検定、 $P < 0.05$)

2種天敵の捕食量の相違が影響

導入メリット

利用リスクを予め周知する注意喚起の情報として活用

害虫	リモニカスカブリダニ	スワルスキーカブリダニ
アザミウマ類	◎	○
コナジラミ類	◎	◎
チャノホコリダニ	△	◎

2種を相対的に比較した防除効果

期待される効果

- ・リモニカスカブリダニ、スワルスキーカブリダニを効果的に利用するための基礎情報として活用

普及対象・範囲
天敵を利用する県内の施設園芸農家